

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(24年度実績評価用)

政策目標1 生涯学習社会の実現

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)/活動指標(アウトプット)
4 家庭の教育力の向上 <small>【担当課(関係課)】 生涯学習政策局 男女共同参画学習課</small> <small>【施策の概要】 近年の都市化、核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭教育が困難になっている社会と指摘されている。これを踏まえ、地域の取組の活性化を図る必要から、身近な地域における家庭教育支援の充実を図る。</small>	1 地域住民、学校、行政、NPO、企業等が連携・協働して学び、活動することによって家庭教育支援が活性化される。	【活動指標(アウトカム)】 ① 家庭教育支援チーム数 (23年度実績:278チーム※補助事業及び地方財源単独実施/目標:24年度・基準値・補助43チーム(委託108チーム)(平成21年度)より増加を目指す) ② 家庭教育支援チームによる支援と学習講座等のいずれかを実施している箇所数 (23年度実績:315市町村/目標:24年度・基準値・補助108市町村(平成21年度)より増加を目指す)
	2 子どもの基本的な生活習慣づくりが定着する。	【活動指標(アウトプット)】 ③ 全国家庭教育支援研究協議会の参加状況(参加者数、参加地域) (23年度実績:参加者 248人、参加地域 20都道府県/目標:24年度・対前年度比増)※平均値 【成果指標(アウトカム)】 ① 全国学力・学習状況調査における「朝ごはんを毎日食べる」小学生の割合[%] (22年度実績:89.0/目標:24年度・基準値88.5(平成21年度)より増加を目指す。) ② 全国学力・学習状況調査における「朝7時より早く起きる」小学生の割合[%] (22年度実績:77.3/目標:24年度・基準値76.6(平成21年度)より増加を目指す。) ③ 全国学力・学習状況調査における「就寝時間が10時より遅い」小学生の割合[%] (22年度実績:56.4/目標:24年度・基準値56.8(平成21年度)より減少を目指す。) 【活動指標(アウトプット)】 ④ 作成した啓発資料の部数 (23年度実績:617,700部/24年度:平成23年度より増加を目指す。)

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・諸会議等)	23年度当初予算額 (千円)	23年度補正予算額 (千円)	24年度当初予算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業レビューシート番号	関連する指標	担当課
全国家庭教育支援研究協議会の開催	26,617	-	21,160	家庭教育を支える環境が大きく変化する中、国として社会全体の動向や地域の課題等を踏まえた支援のあり方の検討や関係府省との連携による研究協議を行い、地域住民、学校、行政、NPO、企業等の社会全体の協働による家庭教育支援の活性化を図る。	0060	1-①~③	男女共同参画学習課
子どもの生活習慣づくり支援事業	50,085	-	29,861	社会の多様化や生活環境の夜型化等により、家庭や社会の影響を受けやすい子どもたちの生活習慣の乱れが、学習意欲や体力・気力の低下の要因の一つとして指摘されており、家庭や学校・地域にとどまらず、企業も含めた社会問題としての取組の定着を図る取組を推進する。	0061	2-①~④	男女共同参画学習課
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業【学校・家庭・地域の連携協力推進事業(1-3)の再掲】	9,450,272の内数	-	8,516,196の内数	すべての親が安心して家庭教育を行えるよう、親への学習機会の提供や相談対応など、地域の主体的かつ持続可能な家庭教育支援に関する取組への支援を行う。	0055	1-①~②	男女共同参画学習課

〈修正のポイント〉
 「平成23年度実施施策に係る実績評価書」において設定した目標等と統一を図るため修正。